

第 68 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 29 年 12 月 18 日(月) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
2. 開催場所 COM 倶楽部会議室 (箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階)
3. 委員の出席 委員総数 6 名
- 出席委員 6 名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、桑田政美
高谷和彦、神垣美代香、中川弘佳
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)
大平麻由美 (編成課長)
小川 亮 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 「飛び出せラジオ! タッキーたんけん隊」
テーマ: “誰にも教えたくない” ヒミツの紅葉狩りスポット巡りツアー
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

「飛び出せラジオ！タッキーたんけん隊」は、毎月1回、スタジオを飛び出して、「まちの今」、「まちのみなさん」のようすを生中継するコーナーです。開局10周年を機に、毎月発行を始めた情報紙「まちの情報箱」を多くかたにお届けするための手段として、2005年10月にスタートしました。情報紙を届けること、多くのみなさんにお会いし、タッキー816を知ってもらうことを目的に、春秋冬は黄緑のジャンパー、夏は青い法被を着て、さらに番組の看板を持ち、常時3～4人で隊を組んで出かけています。

午前中の生放送の時間帯に3回中継回数を作り、趣味の市民活動の場や、子育てサークル、学校、幼稚園、保育所、農家のみなさんの田畑などで中継を行っています。

2016年12月からは、地元の外車販売センターの協賛が付き、隔月で同センターからも中継を行っています。

今回は、箕面の紅葉を、タッキー816も一緒に盛り上げたいという思いから、情報紙「まちの情報箱」で、箕面観光ボランティアガイドのかたにご協力いただき、「誰にも教えたくない ヒミツの紅葉狩りスポット BEST 8」という記事の特集。その記事とコラボし、中継を組みました。10月の台風の影響で、箕面公園で一部通行止めが発生し、箕面大滝まで歩いていけない状況でしたが、通行可能な場所でも十分紅葉が楽しめるということもお伝えするために、ガイドのかたと下見を重ね、紅葉が楽しめ、しかも安全なコースを選びました。

放送で参加者も呼びかけ、さらに、お住まいの地域の情報を定期的に放送で伝えてくださっている「タッキー816街かどレポーター」から3名にも参加していただき、タッキー816が持つラジオと情報紙、街かどレポーター、リスナーを結集した企画にしました。

(2) 審 議

委員長：事務局から番組説明がありました。それではさっそく番組審議をお願いします。

委員 A：添付の記事を見ながら聞くとさらにイメージできて、楽しく聞きました。特に街かどレポーターのかたは良く知っているかたですので、親近感がわいて、高校生で若いかたですが、しっかりレポートもできていて、いい意味でタッキーに育てられているのだなと感じ、そういう意味でもいい企画だと思いました。ただ、一般のかたが聞いてどう思うかとは別です。「誰にも教えたくない」というのは魅力的な企画。箕面在住のかたなら、紅葉の季節だと瀧道を散歩することは多いと思うので、今回台風の影響で通行できない箇所もあると聞いていましたが、こういう番組を聞いていたら紅葉を楽しめたような、ちょっと得した気分になった、そんな感じでみなさん聞いておられたのではないのでしょうか。さらに、いろいろな人が関わって番組作りをしている雰囲気が伝わっていたので、とても良い番組だと思っています。ただ、やはり外に出ると音声聞こえづらかったりするとところも何点かありましたが、それは逆に外からの中継だという雰囲気も出ていて良かったと思えなくもなかったです。

委員長：今回みたいに知っているようで知らない場所やポイントを説明してくれるだけで想像できましたね。

委員 B：やはり音声が気になりました。スタジオと中継先が大きくなったり小さくなったり、外でやるのでそういった障害が出るのは仕方ないのかもしれませんが。箕面の駅から何分で現地に着いたという情報があっても良かった。初めてのかたは目安になりますし。聞いているかたもご自分が出かけるときの計画を立てやすいでしょう。音羽山荘に裏手があるのも知らなかったもので、ぜひ今度行ってみたいです。西江寺へも瀧道から行く道しか知らず、いろいろな道があるのだと知ることができました。同行者もさまざまな年代で上手にコメントされていて、それぞれの考えが伝わってきて良かったです。

委員 C：音羽山荘の裏手の道が出てきたので、親近感を持って聞けましたし、お話しに共感できました。今回紹介された場所は箕面の紅葉ってここまできれいなんだと自慢できる、瀧道以外でみなさんに知ってほしい観光スポットだったので、箕面以外のかたにも聞いてほしいなと思う放送でした。ボランティアガイドさんの説明も勉強になり、なるほどなるほどと聞き入りました。

委員 D：一番気になったのは、やはり音のボリュームの大きい小さいが極端でした。この引っかかりは致命的です。後は、レポーターの目線が一定すぎるなど。紅葉がきれいですね、赤ですね、黄色ですね、だけで終わらずに今一步踏み込んだ情景説明がほしい。例えば、葉っぱは5枚です、とか太い幹ですね、とかそういった言葉があればより想像できる。内容は、観光客のかたが知りたい内容はひとしきり出ているなという無難な所はありましたが、もう少し独自の目線で紹介できれば、もっと番組は面白くなるでしょう。

委員 E：観光ガイド的なレポートになっていることが気になりました。「この場所いいですよ。知らないでしょ」と言うような感動があってもいいなど。レポートは淡々と進められていて、もっと踏み込んだ内容でも良かったんじゃないかと思いました。場所を変えて中継するのは良かったです。音量の問題は気になりました。あと、いくつか気になった点を挙げると、参加者が京都のリスナーというのが気になりました。なぜ京都なのか。また、「タッキーたんけん隊」について、コンセプトと企画説明は毎回したほうがいいのではないかと。次回の予告もあってもいい。次回はどこどこ行きますよ、みたいな。今回、リスナーに参加者募集されましたが、何人参加されましたか。

事務局：お一人でした。

委員 E：そうですか。ボランティアガイドのかたのブログの紹介は、正しくご紹介したほうが良かったですね。内容的にはずっと聞けて、普通に番組的には良かったです。もう少し踏み込んだというか、自分の感動を伝えてもらっていたほうが良かった。あと、この番組をどういう位置付けにするかということが問題で、情報番組なのか娯楽番組なのか、その辺りはどのよう

に考えているのか。情報番組であれば今指摘したこともきちっと抑えていたほうがいいでしょう。それから各中継地点で「これやで」というポイントを紹介できたら良いかなと。最後にもう一つだけ、ブログにせっかく書いているんだから、アップした段階でラジオで伝えた方がいいと思います。すごく詳しくたんけん隊のようすをあげてくれてますし、これは分かりやすいなと読んでて思いました。読んでも面白かったですし。

委員長：リスナーさんやレポーター、ボランティアガイドさん、いろいろな人を巻き込んで参加してもらうのは良かったんですが、リスナーのかたが一人というのは寂しかったですね。逆効果になる。次回があれば、しっかりよろしくをお願いします。タッキーたんけん隊はいつから続いているんでしょうか。

事務局：開局 10 周年からなので、12 年間です。

委員長：実績もありますし、これからも継続させてください。もうワンランク上の盛り上がりがあれば良いなとは思っています。

委員 E:やはり応募が一名ということが一番気になります。12 年続いている企画で、いろいろな箇所を訪問しているのに遠方のリスナーのかたがお一人というのは…。市民応募がなかったというのは厳しい状況です。イベントヒットの 12 のポイントというのがあるのですが、情報性とか社会性、娯楽性、共感性とかいろいろありますが、この中で 3 つ以上当てはまらないものはイベントは失敗すると言われていています。単に訪ね歩くだけでなく、この番組が何を意味して何を伝えたいのか、改めて考えてください。確認の意味で。

事務局：情報番組よりは、娯楽性が強いと考えてます。12 月には、サンタクロースの格好をして、子育てグループや高齢者のサークルにお邪魔し、歌を歌うこともあります。一番の目的は、いつもは一方向的にラジオを通して情報を発信しているのをこちらからたくさん人が集まる場所へ出向いて、顔の見える関係を築いていこうというのが大きな目的です。

委員 E：いろいろな人にタッキーを知ってもらう機会に、という話しがありました
が、そこは少し違うんじゃないかなと引っかかります。タッキーの番組全
体に言えることですが、箕面の多様性を掘り起こすというか、子育てだけ
と違う、もっといろいろな箕面の楽しさというか、こんなのもあれば、あ
んなのもあるみたいな、そういう所をひっぱり出して紹介する。タッキー
の存在を知ってもらうというのは確かに大命題でもあります、もう少し
この企画の意図を考えたほうがいいのではと思います。

委員 C：この情報紙のことなんですが、中々置いているところがないなと気が付き
ました。もっといろいろなところに置いてあってもいいのでは。もっとご
高齢者のかたや若いかたが集まる場所などに置けばもっと名前が出てくる
んじゃないかなと。例え手にとらなくても目にするだけで印象にもつなが
るでしょうし。目立つところに置いていただければいいと思います。

事務局：主要な公共施設には置いています、残念ながら目立っていないのでし
ょう。

委員 B：商店街の店舗やお店、カフェなど、フライヤーは置かせてもらいやすいで
すよね。

委員 D：何部発行しているのですか。

事務局：1500部です。

委員 D：それはちょっと少ないですね。

委員 A：手にとってほしい人がいるところには、開拓していかないと。開拓するの
はたいへんですが、リスナーさんや街かどレポーターさんに手伝っていた
くなど、そういう協力できるルートを広げていくのも必要です。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 29 年 12 月 18 日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会